

2025年12月15日

各位

会 社 名 株 式 会 社 リ ボ ミ ッ ク
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 村 義 一
(コード番号: 4591 東証グロース)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 今 井 利 哉
<https://www.ribomic.com/contact.php>

リードファーマ株式会社とのアプタマーを利用した薬剤送達技術を用いた 中枢神経疾患治療薬の創出に関する共同研究契約締結のお知らせ

株式会社リボミック(東京都港区、代表取締役社長 中村義一、以下「リボミック」)は、本日の取締役会において、リードファーマ株式会社(大阪府吹田市、代表取締役:和田郁人、以下「リードファーマ」)と、この度、中枢神経疾患を対象とした新規治療薬の創出を目指し、血液脳関門を通過可能なアプタマーを用いた薬剤送達技術(Drug delivery system、DDS)に関する共同研究契約を締結すること決議し、本日付けで契約を締結しましたので、お知らせします。

1. 共同研究契約締結の理由及び内容

当社は、標的に対する高い結合活性と化学修飾が容易であるというアプタマーの利点を活かして、組織指向性を持つアプタマーを開発し種々の薬剤と結合することで、組織選択的な DDS の開発に注力してきました。特にこれまでに送達が困難であった脳などの組織への核酸医薬を送達する技術開発に成功しております。

リードファーマは、次世代の核酸医薬プラットフォーム技術である「BROTHERS 技術」^{註1}を構築しており、当該技術を用いて、高い有効性と安全性を両立した革新的な核酸医薬の開発を推進しています。

本提携により、両社は末梢投与で効果を発揮する中枢神経疾患治療薬の実現を目指します。中枢神経疾患はアンメットメディカルニーズが高く、グローバル市場規模は今後も拡大が見込まれる領域です。本共同研究は、核酸医薬の新たな可能性を切り拓く重要なステップとなります。

本契約の締結に伴い、リードファーマはリボミックに対して研究ステップごとの研究費を支払います。尚、具体的な金額等につきましては、契約上、開示を差し控えさせていただきます。

2. 共同研究の相手先の概要

| | | |
|-----------------|--|---|
| (1) 名 称 | リードファーマ株式会社 | |
| (2) 所 在 地 | 大阪府吹田市岸部新町6-1 国立研究開発法人国立循環器病研究センター オープンイノベーションラボ 21001 | |
| (3) 代 表 者 の 氏 名 | 代表取締役社長 和田 郁人 | |
| (4) 事 業 内 容 | 核酸医薬品の研究開発等 | |
| (5) 資 本 金 | 49,825 千円 | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 2019 年 8 月 23 日 | |
| (7) 当該企業との関係 | 資 本 関 係 | 記載すべき資本関係はありません。 |
| | 人 的 関 係 | 記載すべき人的関係はありません。 |
| | 取 引 関 係 | 記載すべき取引関係はありません。 |
| | 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関係当事者には該当しません。 |

「大株主及び持株比率」、「最近3年間の財政状態及び経営成績及び財政状態」については、相手先の意向を踏まえ、開示を差し控えさせていただきます。

3. 日程

| | |
|-------------|------------------|
| (1) 取締役会決定日 | 2025 年 12 月 15 日 |
| (2) 契約締結日 | 2025 年 12 月 15 日 |
| (3) 共同研究開始日 | 2025 年 12 月 15 日 |

4. 今後の見通し

本共同研究契約に伴い、先方から受領する研究費を事業収益として計上することで、2026年3月期の業績予想の修正が発生しますが、本日公表の業績予想の修正に関するお知らせのとおりです。

註¹ BROTHERS 技術:長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系) 山本剛史准教授が開発した核酸医薬の安全性を飛躍的に向上させる革新的なナノテクノロジーです。本技術は、「弟鎖」(おとうとさ)と呼ばれる特殊な相補鎖核酸の装着により、物理化学理論に基づき、核酸医薬の主な副作用機序であるタンパク質や RNA との非特異的な相互作用を回避することを可能にします。従来の毒性回避技術とは全く異なるロジカルなアプローチで、「弟鎖」が核酸医薬の安全装置として機能します。

以上